

目次

目次	1
ごあいさつ	2
I 沿革	3
II 動向	4
III 活動記録	
1. 展覧会	8
2. 教育普及	
1. 講演会	49
2. 展示解説	50
3. 子どもプログラム／ワークショップ	54
4. 市民サポートスタッフ	62
5. 館外活動	62
6. 映像コーナー	66
7. 図書コーナー	66
3. 収集・保存	
1. 収蔵作品数	67
2. 追加収集作品目録	67
3. 保存修復作品	68
4. 貸出事業	70
4. 調査・研究	
1. 刊行図録	71
2. アンケート概要	74
5. 広報・宣伝	77
6. 共催・連携	78
7. 企画協力	80
IV 資料	
1. 施設概要	82
2. 利用案内	82
3. 入館者数	83
4. 美術館設置条例	84
V 紀要	
1. 新収蔵品の紹介（平成24年度～28年度）	87
2. 子ども参加プログラム報告書 ー多色摺り木版画の技法を伝えるー 今西彩子	102
3. 文献目録	107
4. 展覧会記録	127

ごあいさつ

鎌倉市鏑木清方記念美術館は、近代日本画の巨匠 鏑木清方の業績を広く後世に伝えるため、ご遺族から鎌倉市へ寄贈された旧居と美術作品・資料をもとに平成 10 年 4 月に開館しました。

これまで 50 万人を超える方々にお越しいただき、おかげさまで本年 4 月に開館 20 周年を迎えることとなりました。

当館は、開館10年・15年を区切りに美術館の事業をご報告して参りましたが、このたびは平成 24 年度から平成 28 年度に実施した事業を中心に、さまざまな活動の記録をまとめました。

この5年間には、他館での展覧会への企画協力を積極的に行い、各地で鏑木清方の人と芸術の紹介に努めたほか、近隣の美術館等との連携、未来を担う若者たちの育成、東京オリンピック・パラリンピックに向けた多言語化事業など、地域の美術館として活動の幅を広げてまいりました。

これからも、多くの方々に愛される美術館として、鏑木清方の芸術および日本画の普及に一層力を尽くし、清方の貴重な遺産を継承するために更なる精進を重ねてまいります。

多くの方々のご理解とご支援を賜りましたことを心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
鎌倉市鏑木清方記念美術館

I 沿革

平成 2、3 年頃	山田肇氏(鐫木清方の娘婿。当時 明治大学名誉教授、演劇評論家)が、鐫木清方の作品の散逸を防ぎ、その業績を永く後世に伝えるため、清方の終の棲家となった土地、建物及び所有する作品等を活用した記念館の設立等について、横浜美術館等に相談。その意向は鎌倉市に伝えられ、市が受け入れ等の準備を始める。
平成 5 年 10 月	8 月に急逝された山田氏のご遺族より、寄贈の意向が鎌倉市に正式に伝えられる。
平成 5 年 11 月	寄贈作品・資料等が横浜美術館の収蔵庫に移され、調査が始まる。
平成 6 年 3 月	遺族から土地(955.27 m ²)、建物(214.11 m ²)及び作品の一部(26 点)が鎌倉市に寄贈される。
平成 6 年 6 月	作品の一部(14 点)が追加寄贈される。寄贈の手続きは以降 5 回にわたり実施。
平成 6 年 7 月	「(仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会」設置。座長は鎌倉風致保存会会長の上野豊氏。以降計 6 回の検討会を経て基本構想がまとめられる。
平成 6 年 10 月	「受贈記念 鐫木清方展」を鎌倉国宝館にて開催。
平成 7 年 6 月	(仮称)郷土記念館・美術館基本構想検討委員会報告書提出。
平成 7 年	展示設計委託、基本設計、実施設計、地質調査委託、近隣住民調整を実施。
平成 7 年	鐫木清方の旧宅解体が決定。美術館としての機能を備えるために、老朽化した既存建物を活用する方針を変更。
平成 7 年 12 月	鎌倉市議会で補正予算が承認される。(建設工事費・家屋解体工事費・家屋事前調査費)
平成 8 年 2 月	鐫木清方旧宅解体。
平成 8 年 4 月	着工。
平成 9 年 8 月	横浜美術館に保管されていた作品の鎌倉文学館、鎌倉市立図書館への移管を開始。 建物竣工。財団法人鎌倉市芸術文化振興財団へ施設管理委託。外構・庭園の工事実施。
平成 10 年 3 月	工事竣工
平成 10 年 4 月 17 日	鎌倉市鐫木清方記念美術館開館。 開館記念式典開催。
平成 10 年 4 月 18 日	一般観覧開始。
平成 13 年 9 月	「鐫木清方記念美術館 収蔵品図録—作品編—」発行。以降毎年度、鐫木清方記念美術館叢書図録を刊行。
平成 16 年 4 月	開館準備に際して設置された専門委員制度に代わり、参与を設置。
平成 17 年 9 月	入館者数20万人達成。
平成 18 年 4 月	指定管理者制度導入により、財団法人鎌倉市芸術文化振興財団(平成 24 年 4 月公益財団法人に移行)が管理運営を行う。参与を廃し、館長に真室佳武氏を任命。市民サポートスタッフ活動開始。
平成 18 年 8 月	子ども参加プログラム(ワークショップ)を開始。
平成 18 年 11 月	「第 1 回鎌倉芸術祭」共催。(3 日から 12 日まで)
平成 19 年	学芸員実習、高校生インターンシップ受入開始。
平成 20 年 1 月	初の出張展示「鐫木清方の芸術展」を、美術館「えき」KYOTO にて実施。(2 日から 27 日まで)
平成 20 年 4 月 24 日	特別展 開館 10 周年記念展「清方の美 —その叙情—」初日に「開館 10 周年記念の集い」を開催。
平成 21 年 11 月	子ども参加プログラム向けパンフレット1「日本画を描いてみよう！」(第 1 刷)を発行。
平成 22 年 11 月	近隣施設との連携事業(スタンプラリー)を開始。(13 日から翌年 1 月 16 日まで)
平成 23 年 4 月	市民講座を開始(13 日、15 日～17 日)。
平成 23 年 11 月	特別展「清方、三遊亭圓朝との出会いと芝居への愛慕」展で重要文化財《三遊亭圓朝像》を展示。 (3 日から 12 月 9 日まで)
平成 24 年 7 月	近隣施設(北鎌倉 葉祥明美術館)との相互割引の連携事業を開始。(8 月 26 日まで)
平成 25 年	中学生インターンシップ(2 月)、大学生・大学院生インターン(4 月～翌 3 月)の受入開始。
平成 25 年 4 月 18 日	「開館 15 周年記念無料観覧日」を実施。
平成 25 年 8 月	NPO と連携した未就学児童・小学校低学年対象のワークショップを開催。(20 日・21 日)
平成 26 年 4 月	文化庁補助事業「鎌倉の美術館 外国人利用のための環境整備事業」を実施。(翌 3 月末まで)
平成 27 年	NPO と連携した美術館鑑賞入門、一般向けワークショップ、日本画制作実演の開始。
平成 28 年 2 月	子ども参加プログラム向けパンフレット2「木版画の多色摺りに挑戦しよう！」(第 1 刷)を発行。
平成 28 年 8 月	文化庁補助事業「鎌倉の文化施設を国際発信する地域活性化事業」を実施。(翌 3 月末まで)
平成 29 年 4 月	入館者 50 万人達成。(7 日)

Ⅱ 動向

平成 24 年度

- 平成 24 年 4 月 19 日 特別展「鏑木清方没後四十年 45 女性風俗と四季の風情」(5 月 23 日まで)
- 平成 24 年 5 月 26 日 特別展「一葉生誕 140 年 清方に見る 明治の女性」(7 月 1 日まで)
- 平成 24 年 6 月 5 日 美術講演会「清方に見る 樋口一葉と文学」(講師:山田有策氏)を開催。
- 平成 24 年 7 月 7 日 収蔵品展「清方のまなざし 夏の美人」(8 月 26 日まで)
- 平成 24 年 7 月 7 日 「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 26 日まで)
- 平成 24 年 7 月 21 日 北鎌倉 葉祥明美術館との連携事業「鎌倉の小さな美術館へようこそ！」を実施。(8 月 26 日まで)
- 平成 24 年 7 月 21 日 平塚市美術館「市制 80 周年記念 上村松園と鏑木清方」展へ企画協力。(9 月 2 日まで)
- 平成 24 年 7 月 21 日 平塚市美術館「市制 80 周年記念 上村松園と鏑木清方」展との相互割引実施。(9 月 2 日まで)
- 平成 24 年 7 月 26 日 27 日、8 月 3 日との計 3 回、子ども参加プログラム「日本画材を使って、「扇子」に絵を描こう！」を実施。
- 平成 24 年 8 月 30 日 収蔵品展「明治の女性美」(9 月 30 日まで)
- 平成 24 年 10 月 4 日 収蔵品展「清方の美人画」(10 月 31 日まで)
- 平成 24 年 11 月 3 日 特別展「清方描く 江戸の残り香 一文化勲章受章への軌跡」(12 月 9 日まで)
- 平成 24 年 11 月 3 日 横浜美術館・太田記念美術館との「国芳・芳年・清方を巡る相互割引」を実施。(12 月 9 日まで)
- 平成 24 年 11 月 6 日 美術講演会「江戸美人画の記憶 一清方作品を新しく見るために」(講師:今橋理子氏)を開催。
- 平成 24 年 12 月 20 日 叢書 14「鏑木清方の随筆『こしかたの記』を読む その一 一『報知新聞』明治・大正初期関連作品所収」発行。
- 平成 24 年 12 月 15 日 収蔵品展「正月の風情 一羽子板展」(平成 25 年 1 月 20 日まで)
- 平成 25 年 1 月 26 日 収蔵品展「描かれた女性美」(3 月 3 日まで)
- 平成 25 年 3 月 9 日 収蔵品展「清方描く 桜の風情」(4 月 14 日まで)
- 平成 25 年 3 月 15 日 開館十五周年記念図録「鏑木清方名作集」発行。
- 平成 25 年 3 月 26 日 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 4 日まで)

平成 25 年度

- 平成 25 年 4 月 2 日 4 月 3 日との計 2 回、子ども参加プログラム「日本画材の「砂子」を使って絵を描こう！」を実施。
- 平成 25 年 4 月 18 日 鎌倉市鏑木清方記念美術館 「開館 15 周年記念無料観覧日」を実施。
- 平成 25 年 4 月 19 日 特別展「開館 15 周年記念 清方、美人画の巨匠へ」(5 月 22 日まで)
- 平成 25 年 5 月 18 日 「国際博物館の日」記念事業(展示解説、ポストカードプレゼント)を実施。
- 平成 25 年 5 月 25 日 特別展「清方生誕 135 年記念 初夏の風情 一随筆『こしかたの記』とともに」(6 月 30 日まで)
- 平成 25 年 5 月 25 日 北鎌倉 葉祥明美術館との連携事業「鎌倉の小さな美術館へようこそ！」を実施。(8 月 25 日まで)
- 平成 25 年 5 月 28 日 美術講演会 「鏑木清方の魅力 一随筆『こしかたの記』について」(講師:辻原登氏)を開催。
- 平成 25 年 7 月 4 日 収蔵品展「清方が過ごした明治の風情」(8 月 25 日まで)
- 平成 25 年 7 月 4 日 「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 31 日まで)
- 平成 25 年 7 月 25 日 26 日、8 月 2 日の計 3 回、子ども参加プログラム「日本画の手法、垂らし込みを使って、絵を描いてみよう！」を実施。
- 平成 25 年 8 月 20 日 21 日の計 2 回、NPO との連携事業親子参加プログラム「親子で美術館へ行ってみよう！」を実施。
- 平成 25 年 8 月 30 日 収蔵品展「大正期の美人画」(9 月 23 日まで)
- 平成 25 年 10 月 3 日 収蔵品展「昭和に描いた明治の風情」(10 月 27 日まで)
- 平成 25 年 10 月 31 日 特別展「泉鏡花生誕 140 年記念 清方が描いた鏡花の世界」(12 月 4 日まで)
- 平成 25 年 10 月 31 日 三越劇場・神奈川近代文学館・泉鏡花記念館・鎌倉文学館との相互割引実施。(12 月 4 日まで)
- 平成 25 年 11 月 4 日 泉鏡花記念館・神奈川近代文学館との連携事業「泉鏡花生誕 140 年記念 誕生日プレゼント！」を実施。
- 平成 25 年 11 月 10 日 講演会「美術館はどんなところ？ ～鏑木清方と日本画の魅力～」を実施。
- 平成 25 年 11 月 18 日 美術講演会「俯く女、仰ぐ女、そして臥す女 一清方が描く鏡花文学の女性像」(講師:鈴木啓子氏)を開催。

- 平成 25 年 12 月 12 日 収蔵品展「清方 新春を祝う 一羽子板展一」(平成 26 年 1 月 26 日まで)
- 平成 25 年 12 月 20 日 叢書 15「鐮木清方と硯友社 一尾崎紅葉・泉鏡花・山岸荷葉著作関連作品所収一」発行。
- 平成 26 年 1 月 4 日 特別企画「お年玉プレゼント」を実施。(1 月 17 日まで)
- 平成 26 年 1 月 31 日 収蔵品展「作品に見る清方の美意識」(4 月 13 日まで)
「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 5 日まで)

平成 26 年度

- 平成 26 年 4 月 1 日 文化庁補助事業「鎌倉の美術館 外国人利用のための環境整備事業」を実施。(平成 27 年 3 月 31 日まで)
- 平成 26 年 4 月 2 日 3 日との計 2 回、子ども参加プログラム「日本画材の胡粉だんごを作って絵を描こう！」を実施。
- 平成 26 年 4 月 5 日 佐野美術館「追憶の美人 日本画家鐮木清方」展へ企画協力。(5 月 11 日まで)
- 平成 26 年 4 月 5 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「鎌倉小町通り・八幡宮エリア 鎌倉ミュージアムめぐり」を実施。(12 月 14 日まで)
- 平成 26 年 4 月 18 日 特別展「鎌倉 鐮木清方の終の棲家」(5 月 21 日まで)
- 平成 26 年 5 月 18 日 「国際博物館の日」記念事業(収蔵作品のスライド上映)を実施。
- 平成 26 年 5 月 24 日 特別展「観る・読む・描く 鐮木清方と文学 一硯友社を中心に一」(6 月 29 日まで)
北鎌倉 葉祥明美術館との連携事業「鎌倉の小さな美術館へようこそ！」を実施。(8 月 26 日)
- 平成 26 年 5 月 26 日 美術講演会「鐮木清方 人と芸術」(講師:河野元昭氏)を開催。
- 平成 26 年 6 月 15 日 7 月 19 日、8 月 2 日、30 日との計 4 回、日本画ワークショップ「日本画材を使って、うちわに絵を描こう！」を実施。
- 平成 26 年 7 月 4 日 企画展「清方の挿絵ができあがるまで」(8 月 26 日まで)
- 平成 26 年 7 月 18 日 「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 30 日まで)
- 平成 26 年 7 月 24 日 25 日、8 月 1 日の計 3 回、子ども参加プログラム「日本画を描く基本の骨描きに挑戦してみよう！」を実施。
- 平成 26 年 7 月 31 日 親子鑑賞プログラム「初めて大歓迎！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」を実施。
- 平成 26 年 8 月 30 日 企画展「手もとで味わう 清方の芸術 一卓上芸術と秋の風情一」(10 月 21 日まで)
- 平成 26 年 8 月 31 日 「鐮木清方誕生日記念 絵はがきプレゼント」を実施。
- 平成 26 年 9 月 9 日 千葉市美術館「鐮木清方と江戸の風情」展へ企画協力。(10 月 19 日まで)
- 平成 26 年 9 月 20 日 子ども参加プログラム向けパンフレット「日本画を描いてみよう！」(日・英)(文化庁補助事業)を発行。
- 平成 26 年 10 月 31 日 特別展「清方描く 季節の情趣 一大佛次郎とのかかわり一」(12 月 4 日まで)
大佛次郎記念館との連携事業「もっと知りたい！日本画家・鐮木清方と小説家・大佛次郎」を実施。(平成 27 年 3 月 8 日まで)
- 平成 26 年 11 月 3 日 特別鑑賞イベント「大佛次郎茶亭を巡る特別鑑賞 Day」を実施。
- 平成 26 年 11 月 11 日 美術講演会「大佛次郎と『苦楽』 一美術との接点一」(講師:猿渡紀代子氏)を開催。
- 平成 26 年 12 月 20 日 叢書 16「鐮木清方記念美術館 収蔵品図録」(文化庁補助事業)発行。
- 平成 26 年 12 月 12 日 新春企画「羽子板と正月の風情」(平成 27 年 1 月 18 日まで)
- 平成 27 年 1 月 4 日 山口蓬春記念館との連携事業「鐮木清方と山口蓬春一吉田五十八建築にみる日本画家の画室」を実施。(2 月 22 日まで)
- 平成 27 年 1 月 23 日 企画展「鐮木清方の肖像画と美人画」(2 月 22 日まで)
太田記念美術館との連携事業「Bijinga 百花繚乱 浮世絵師 VS 清方」を実施。(4 月 12 日まで)
- 平成 27 年 1 月 20 日 叢書 17「鐮木清方の随筆『こしかたの記』を読む その二 一『報知新聞』大正期掲載挿絵および関連口絵所収一」発行。
- 平成 27 年 2 月 3 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！」を実施。
- 平成 27 年 2 月 27 日 企画展「麗しき女性たち 一清方の挿絵を中心に一」(4 月 12 日まで)
- 平成 27 年 3 月 24 日 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者 1 名を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 7 日まで)

平成 27 年度

- 平成 27 年 4 月 2 日 3 日との計 2 回、子ども参加プログラム「絵絹に日本画材で描いてみよう！」を実施。
- 平成 27 年 4 月 11 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「鎌倉文化ゾーン〔小町通り・八幡宮エリア〕 鎌倉ミュージアムめぐり」を実施。(平成 28 年 1 月 31 日まで)
- 平成 27 年 4 月 17 日 特別展「初夏を彩る 一清方の名品」(5 月 20 日まで)
- 平成 27 年 5 月 2 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！」を実施。
- 平成 27 年 5 月 3 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、小色紙に絵を描いてみよう！」を実施。
- 平成 27 年 5 月 23 日 特別展「美の伝承 一清方と弟子たち」(6 月 28 日まで)
北鎌倉 葉祥明美術館との連携事業「鎌倉の小さな美術館へようこそ！」を実施。(平成 28 年 3 月 31 日まで)
- 平成 27 年 5 月 26 日 美術講演会「日本画材の変遷と鏗木清方時代の日本画」(講師: 上田邦介氏)を開催。
- 平成 27 年 6 月 9 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！～作品カードで視点が変わる？～」を実施。
- 平成 27 年 6 月 20 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、絵を描こう！」を実施。
- 平成 27 年 7 月 3 日 企画展「清方の作品から学ぶ、日本画の描き方」(8 月 23 日まで)
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 23 日まで)
そごう美術館との連携事業「夏休みは鎌倉&横浜へ！」を実施。(8 月 30 日まで)
- 平成 27 年 7 月 20 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、うちわに絵を描こう！」を実施。
- 平成 27 年 7 月 23 日 24 日、31 日との計 3 回、子ども参加プログラム「天然岩絵具を使って描いてみよう！」を実施。
- 平成 27 年 7 月 25 日 26 日との計 2 回、日本画制作実演(講師: 長谷川幾与氏)を実施。
- 平成 27 年 7 月 28 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！～日本画って？～」を実施。
- 平成 27 年 7 月 30 日 親子鑑賞プログラム「親子で美術館へ行ってみよう！」を実施。
- 平成 27 年 8 月 29 日 企画展「秋の情趣 清方の多彩な表現」(10 月 18 日まで)
- 平成 27 年 9 月 5 日 ウッドワン美術館「鏗木清方・伊東深水 美の系譜」展へ企画協力。(10 月 18 日まで)
- 平成 27 年 9 月 8 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！～作品カードで視点が変わる？～」を実施。
- 平成 27 年 9 月 12 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、没骨の技法に挑戦しよう！」を実施。
- 平成 27 年 10 月 10 日 日本画ワークショップ「日本画の隈取りの技法で墨絵を描こう！」を実施。
- 平成 27 年 10 月 24 日 特別展「清方 清らかな女性たち 一木原文庫より」(11 月 29 日まで)
- 平成 27 年 11 月 6 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！～和服で行ってみよう！～」を実施。
- 平成 27 年 11 月 16 日 美術講演会「鏗木清方と浮世絵美人画」(講師: 内藤正人氏)を開催。
- 平成 27 年 11 月 22 日 23 日との計 2 回、日本画制作実演(講師: 松岡美樹子氏)を実施。
- 平成 27 年 11 月 28 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、板絵を描こう！」を実施。
- 平成 27 年 12 月 5 日 企画展「新春の風情と羽子板展」(平成 28 年 1 月 17 日まで)
- 平成 27 年 12 月 8 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！～思ひ出の年末年始を語ろう！～」を実施。
- 平成 28 年 1 月 7 日 山口蓬春記念館との連携事業「鏗木清方と山口蓬春 吉田五十八建築にみる日本画家の画室」を実施。(3 月 21 日まで)
- 平成 28 年 1 月 21 日 企画展「清方芸術の起源」(2 月 21 日まで)
- 平成 28 年 1 月 30 日 NPO との連携事業「美術館でどう観るの？ひとまず行ってみよう！展示解説付き！」を実施。
- 平成 28 年 2 月 20 日 叢書 18「鏗木清方と珊々会 西山翠嶂、西村五雲、松岡映丘、菊池契月、結城素明、上村松園、小杉放菴とともに 一『報知新聞』大正期掲載挿絵等所収」発行。
子どもプログラム向けパンフレット「木版画の多色摺りに挑戦しよう！」(日・英)発行
- 平成 28 年 2 月 26 日 企画展「制作と生きがい 一清方の人生の岐路を追う」(4 月 17 日まで)
- 平成 28 年 3 月 23 日 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 7 日まで)

平成 28 年度

- 平成 28 年 4 月 5 日 6 日との計 2 回、子ども参加プログラム「扇面に日本画材で描いてみよう！」を実施。
- 平成 28 年 4 月 9 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「鎌倉文化ゾーン〔小町通り・八幡宮エリア〕 鎌倉ミュージアムめぐり」を実施。(平成 29 年 1 月 15 日まで)
- 平成 28 年 4 月 21 日 特別展「清方、明治への思慕 ―江戸の残り香とともに―」(5 月 25 日まで)
- 平成 28 年 5 月 7 日 8 日との計 2 回、日本画制作実演(講師:松岡美樹子氏)を実施。
- 平成 28 年 5 月 15 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、絵を描こう！」を実施。
- 平成 28 年 5 月 18 日 「国際博物館の日」記念事業(展示解説)の実施。
- 平成 28 年 5 月 28 日 特別展「古きよき抒情を求めて ―瑠々会出品作品を中心に―」(7 月 3 日まで)
- 平成 28 年 6 月 6 日 美術講演会「京都画壇の画家たち ―清方との関わり―」(講師:鬼頭美奈子氏)を開催。
- 平成 28 年 6 月 18 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、絵を描こう！」を実施。
- 平成 28 年 7 月 8 日 企画展「清方の美しき絵の世界」(8 月 28 日まで)
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(8 月 28 日まで)
- 平成 28 年 7 月 16 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、団扇に絵を描こう！」を実施。
- 平成 28 年 7 月 21 日 8 月 18 日との計 2 回、子ども参加プログラム「木版画の多色摺りに挑戦しよう！」を実施。
- 平成 28 年 7 月 27 日 8 月 2 日との計 2 回、NPO との連携事業「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」を実施。
- 平成 28 年 7 月 28 日 29 日、8 月 5 日との計 3 回、子ども参加プログラム「銀箔を貼って、日本画材で描いてみよう！」を実施。
- 平成 28 年 8 月 29 日 文化庁補助事業「鎌倉の文化施設を国際発信する地域活性事業」を実施。(平成 29 年 3 月 31 日まで)
- 平成 28 年 9 月 3 日 企画展「樋口一葉没後 120 年記念 ひびきあう、清方と文学」(10 月 19 日まで)
- 平成 28 年 9 月 17 日 日本画ワークショップ「隈取りの技法で墨絵を描こう！」を実施。
- 平成 28 年 10 月 9 日 10 日との計 2 回、日本画制作実演(講師:長谷川幾与氏)を実施。
- 平成 28 年 10 月 15 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、没骨の技法に挑戦しよう！」を実施。
- 平成 28 年 10 月 22 日 特別展「清方の美 季節の装い」(11 月 27 日まで)
北鎌倉 葉祥明美術館との連携事業「鎌倉の小さな美術館へようこそ！」を実施。(平成 29 年 1 月 20 日まで)
- 平成 28 年 10 月 25 日 NPO との連携事業「鏑木清方ゆかりの地を辿る」を実施。
- 平成 28 年 10 月 29 日 第 11 回鎌倉芸術祭プログラム「朗読者 in KAMAKURA「鏡花語り 清方描く ―ふたりの鎌倉物語―」」を実施。
- 平成 28 年 11 月 1 日 美術講演会「清方と江戸の四季」(講師:新藤茂氏)を開催。
- 平成 28 年 11 月 19 日 日本画ワークショップ「日本画材を使って、板絵(羽子板)を描こう！」を実施。
- 平成 28 年 11 月 23 日 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館との連携事業「4 館の学芸員たちが語る ミュージアム×建築めぐり」を実施。
- 平成 28 年 12 月 3 日 企画展「清方と新春の風景」(平成 29 年 1 月 15 日まで)
- 平成 29 年 1 月 19 日 企画展「物語の中の女性たち ―清方の芝居絵を中心に―」(2 月 19 日まで)
- 平成 29 年 1 月 24 日 NPO との連携事業「～初心者向～ 日本画材で描いてみませんか？」を実施。
- 平成 29 年 2 月 20 日 叢書 19「鏑木清方の随筆『續こしかたの記』を読む その一 ―『九州日報』掲載挿絵等所収―」発行。
- 平成 29 年 2 月 24 日 企画展「つつましく そして艶やかに ―清方ゑがく女性―」(4 月 16 日まで)
- 平成 29 年 3 月 25 日 「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 4 日まで)